

21	生活文化局	都立文化施設の魅力・利便性の更なる向上
事業概要	<p>都立文化施設における文化発信拠点としての機能向上に向け、大規模改修工事を着実に実施するとともに、障害のある方や海外からの観光客など誰もが芸術文化に親しめるよう、多言語対応やバリアフリー化等の受入環境整備を進め、施設の魅力を高める。</p>	
これまでの経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>多言語対応について実施した調査結果（平成27年度）や多言語対応ガイドブック（平成28年度）等を踏まえ、各都立文化施設の特性に応じた多言語対応を進めた。</li> <li>バリアフリー化について実施した調査結果（平成27年度）等を踏まえ、都立文化施設のバリアフリー化を順次進めた。</li> <li>東京都庭園美術館、江戸東京たてもの園、東京都写真美術館、東京都美術館において、ユニークベニュー事業を実施した。また、展示物の写真撮影機会の拡充に向けた取組を進めたほか、都立文化施設における電子マネー決済の導入を完了した。</li> <li>一都三県美術館・博物館の連携した取組検討のための実務担当者会議を開催し、周遊性の向上、多言語対応等、誰もが身近に芸術文化に親しめる環境の整備について検討を進めた。</li> <li>東京都写真美術館、東京都美術館、東京文化会館、東京芸術劇場の大規模改修を実施したほか、東京都庭園美術館の昇降機整備を行った。</li> </ul>	
現在の進行状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>都立文化施設の多言語対応やバリアフリー化を順次進めている。</li> <li>ユニークベニュー事業の実施や、展示物の写真撮影機会の拡充に向けた取組を進めている。</li> <li>美術館・博物館の連携した取組や周遊性向上について順次対応を進めている。</li> <li>東京都現代美術館における大規模改修のほか、江戸東京博物館、東京芸術劇場における昇降機の改修等、施設の機能更新や安全性・利便性向上に向けた取組を行っている。</li> </ul>	
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京2020大会に向け、都立文化施設が果たす役割を踏まえ、大規模改修工事を着実に実施し、多言語対応、バリアフリー化、ユニークベニュー対応及び写真撮影機会の拡充といった受入環境整備を進め、あらゆる人々が芸術文化に親しめるように、文化発信拠点としての機能を向上させる。</li> </ul>	
問い合わせ先	生活文化局 文化振興部 企画調整課	電話 03-5388-3052